

IV おわりに

以上、令和2年度の市政執行にあたって基本的な考え方について述べさせていただきました。

本格的な人口減少時代に突入し、近い将来、多くの自治体で経済力を維持することが難しい状況となることが予想されます。

しかし、この厳しい時代に目を背けることなく、本市が持つ潜在的資源の掘り起こしを行いながら、前向きに挑戦し続けることで、新しい時代を切り拓いていくことができると確信しております。

去年は、伊達150年の節目の年でありました。これからは151年、200年に向けて、市民一人ひとりが英知を結集し、固定観念に縛られない柔軟で「Free（フリー）」な思考を持ちながら、まちづくりへの新たな挑戦をすることが必要であります。

そして、本市の歴史、文化、産業、市民力など本市が持つ魅力すべてが渾然一体となることで、さらなる展望が開けると信じております。

市民の皆さまとともに策定した「第7次伊達市総合計画」に掲げた将来像の実現に向けて、多くの市民がまちづくりの担い手となり、共に支え合い、豊かさを感じながら、将来も住み続けたいと思えるようなまちを目指して、市民の皆さまとともにまちづくりに取り組んでまいります。

むすびにあたり、市民の皆さまから寄せられた市政全般にわたる温かいご支援、ご協力に心から感謝申し上げますとともに、市議会議員及び市民の皆さまの益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。